

神社・仏閣等、所有者・管理者様へのご提案

(1)

文化財のデジタル復元による 文化財・文化的資料の活用と保存

合資会社 文化財復元センター

代表者 大隈 剛由

〒619-0237

京都府相楽郡精華町光台1丁目7
けいはんなプラザラボ棟9階

ホームページ

文化財復元・info
<http://www.fukugen.info/>

TEL 050-1058-8025

FAX 0774-39-7091

E-mail information@fukugen.info

神社・仏閣等、所有者・管理者様へのご提案

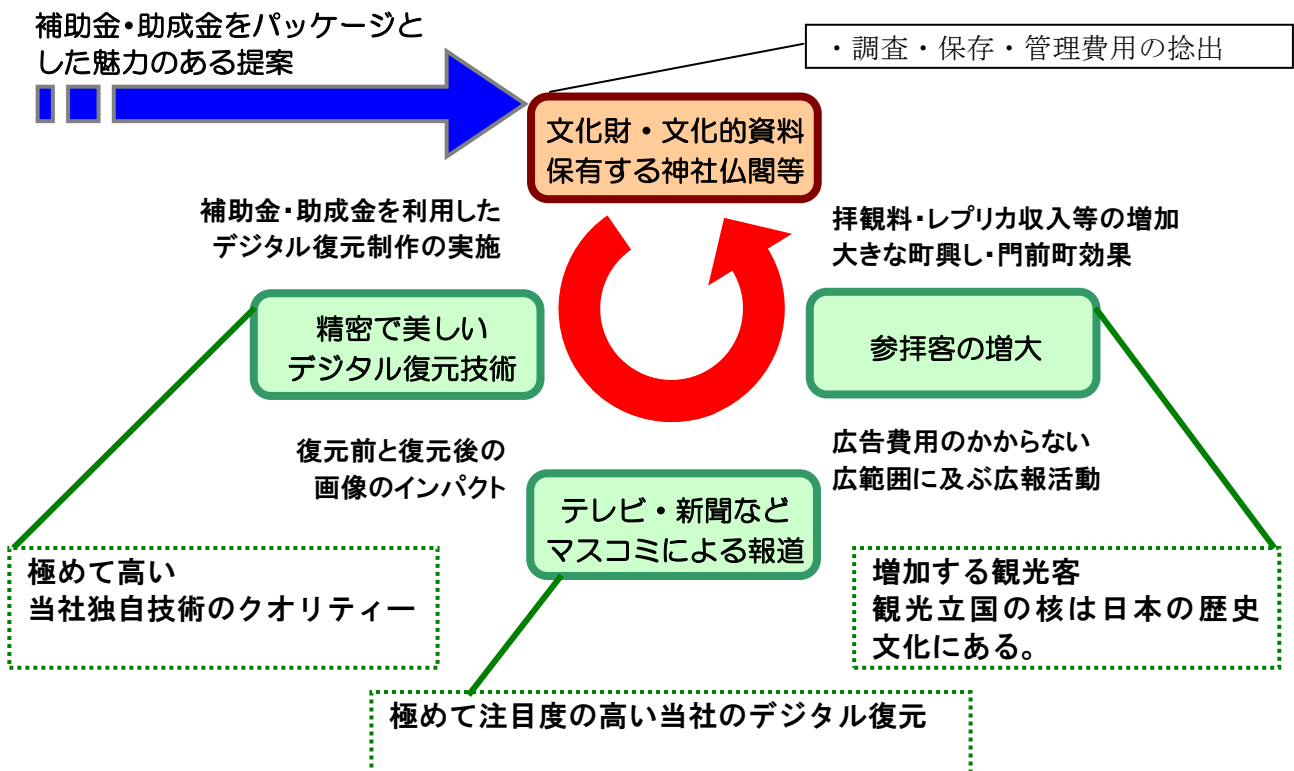
文化財を保有する神社仏閣等では、その保存・管理に相当な費用が必要です。同時に、管理保管上の負担を回避するため、文化財の指定を受けることなく保有されている神社仏閣も多いという実情があります。文化財への費用捻出は、いたずらに文化財の保護の必要性を訴えても、その実施には常に困難を伴います。そこで当社では、復元制作による経済効果を元にした提案（拝観料増加、レプリカ販売等）を行なうとともに、各種助成金・補助金をパッケージにした提案を積極的に行なっています。

(1) ご提案内容

当社は、国際的文化と歴史の都市、京都・奈良において、外国人観光客の関心の高い文化的資産を、極めて高い※**匠の技術**で復元し、多くのマスコミの注目を集め、新たな観光資源を提供して行きます。また、各種助成金・補助金をパッケージにした魅力ある提案を行ないます。

※平成19年度大阪府「なにわの名工」・平成22年度京都府「現代の名工」認定

＜ 文化財・文化的資料 活用/保存 サイクル ＞



■代表者より■

デジタル復元制作をすると、報道関係の取材がとても多いものです。

報道関係者の方も、珍しいものや話題になる話には、苦勞されている様子で、対応には手間が掛かいますが、しかし、これは依頼者の方の宣伝に役立つことだと思っています。広告費を払わずに注目を浴びるわけですから、観光資源に有効な、大きな仕事を手がけたいと思っています。

事例・1「法輪寺 虚空蔵菩薩像」

<p>2008年6月 (主な報道先) ABCテレビ 京都新聞 朝日新聞 中外日報 六大新報</p>	<p>法輪寺 虚空蔵菩薩像 (京都市・嵐山) 『法輪寺 復元制作報告書』を作成。可能な限りの痕跡を求めた。依頼者の希望により、当時の荘厳さを表現するため加筆した。報告書においては、加筆の場所、程度等を明確にしている。「求聞持法」に用いられた板絵。</p>	
---	---	--

京都 嵐山・法輪寺虚空蔵菩薩像復元 報道

■ メディア掲載記録一覧 ■

報道記録(新聞・雑誌等)

京都新聞	2007年11月20日
中外日報	2009年2月26日
朝日新聞	2009年3月10日
六大新報	2009年3月5日
中外日報	2009年3月14日
中外日報	2009年3月19日

報道記録(NHK・民放・ケーブルテレビ)

ABCテレビ	2009年4月6日
--------	-----------

2009年4月6日 ABCテレビ「NEWS ゆう+」



2009年3月19日 中外日報

本尊奉告法要を厳修

本尊宝前で表白文を読み上げる藤本管長

完成を祝い、茂山忠三郎社中による狂言が奉納された

板絵本尊虚空蔵菩薩の修復が完了



修復された虚空蔵菩薩像(左)と復元した絵像

四百年前の姿を復元

京都市西京区、真言宗五智教団法輪寺(藤本哲也住職)で十日、板絵本尊・虚空蔵菩薩像の修復と復元完了を報告する法要が厳修された。導師を務めた藤本高全五智教団管長(法輪寺副住職)は表白文で「誠に法事限りなく、感激に堪えず、よってここに深甚謝辞を表す」と読み上げ、修復・復元の完了を秘仏本尊虚空蔵菩薩に奉告した。

金箔の剥落どめなどの修復を終えた絵像は、室町時代から江戸時代初期の作といわれ、円形(九九〇×九五)の板に本尊の姿を描いた。昨年四月、京都府の補助金交付の機会を得て、修復作業に入った。同時に制作当初の絵像を再現するデジタル復元の工程にも着手。剥落どめなどの修復は柱文化財修理工房、復元は文化財復元センターに依頼した。また、同寺は信者向けに直径六〇センチのレプリカを限定で百部制作、申し込みを受け付けている。

真言宗五智教団 智福山法輪寺

〒616-0006 京都市西京区嵐山虚空蔵山町
電話 075(861)0069

閉鎖された旧都文中の校ラウリシは熱戦となり、いた。運動会に出た記憶に和やかに楽しんでいる(樺山聡) ニテイ、生活機能向上

虚空蔵菩薩の板絵 来春 復元

法輪寺 江戸初期の作 修行で使用



秘仏の本尊模写か

京都市西京区の法輪寺で、修行の際に使われた虚空蔵菩薩の板絵の復元作業が進んでいる。傷みが激しく、特殊なカメラを使って見えなかった部分の浮かび上がらせる。秘仏の本尊の様子を伝えていくとも言われる貴重な資料で、同寺は「作者や在りも特定できずかもしれない」と期待している。

板絵は、円盤状の板に虚空蔵菩薩を描いたもので、百回ほど繰り返した修行「求聞持法」を行う時に修行者が描き、修行中の本尊として使われる。一般的には修行後に廃棄されるが、法輪寺の板絵は、江戸時代初期の作とみられ、右手に剣、左手に宝珠を持つ「法輪寺」の特徴を持つ。府文化財保護課は「秘仏の姿を模し

特殊カメラで消えた輪郭浮き上がらす



画像データをパソコンに取り込むスタッフ (京都市西京区・法輪寺)

ている可能性もある」と、せる計画だ。作業は来春には完了するという。奥本殿に保管されていたが、絵の具がはれるなどの傷みが激しかった。枚方市の業者によって、消えた線や輪郭を浮き上がらせた。特殊カメラで撮影したデータをパソコンに取り込む。消えた線を浮かび上げ、元の姿をよみがえら

虚空蔵菩薩の麗姿復元

嵐山の画像処理で400年前に 法輪寺

京都市西京区、真言宗(心)と呼ばれ、数百年にわたる歴史を持つ法輪寺(藤本三三三)に伝わる虚空蔵菩薩の板絵が、画像処理によって、400年前の姿が再現された。修復作業は、三月十日の法要に先立ち、報告された。修復作業は、三月十日の法要に先立ち、報告された。修復作業は、三月十日の法要に先立ち、報告された。



400年前の姿をよみがえらせた復元画像

法輪寺の本尊・虚空蔵菩薩は、右手に宝剣、左手に如意宝珠を持つ。京都大の法輪寺に、同じ仏像が二体ある。右手は掌を握り、左手は如意宝珠を持つ。法輪寺の虚空蔵菩薩は、右手に宝剣、左手に如意宝珠を持つ。

修復された虚空蔵菩薩の姿が再現された。修復作業は、三月十日の法要に先立ち、報告された。修復作業は、三月十日の法要に先立ち、報告された。

本尊復元 迫る色彩

法輪寺、きょう一般公開



西京区嵐山の法輪寺で、求聞持法という修行に使う板絵の本尊の虚空蔵菩薩像の修復と復元作業が終わった。通常は、初期のものともみられ、直径約

修復された虚空蔵菩薩像(右)と復元した絵図(西京区嵐山虚空蔵山町)

1層の円形の板に漆を塗り重ね、その上に彩色されている。傷みがひどい形だが、昨年からの修復を受けて、最新のデジタル技術を使って当初の姿を復元した絵図も制作した。虚空蔵菩薩は右の手のひらを開いた「与願印」の形で下っている姿が多いが、法輪寺の像は智慧の象徴である宝珠を持つのが特徴。左手には福徳を象徴する宝珠を乗せている。弘法大師の弟子の道昌(798-876)が同寺に最初にまつた虚空蔵菩薩の姿が原型という。

10日は恒例の法会上、祈願祭に合わせた午後1時から法要があり、法話や奉納狂言も予定する。問い合わせは同寺(075・861・0069)へ。




デジタル復元された「虚空蔵菩薩像」

絵図本尊復元制作も完了 来る3月10日に一般公開

法輪寺、虚空蔵修復法要

京都市西京区嵐山虚空蔵山町、法輪寺で、虚空蔵菩薩の修復法要が、3月5日(土)に実施された。修復作業は、昨年夏より実施して、今春に完了した。法要には、虚空蔵菩薩の修復法要が、3月5日(土)に実施された。修復作業は、昨年夏より実施して、今春に完了した。

(2) 事例・2「笠置寺・弥勒磨崖仏」

<p>2010年10月 (主な報道先) NHK 京都新聞 毎日新聞 朝日新聞 サンケイ新聞 中外日報</p>	<p>笠置寺 弥勒磨崖仏 (京都市笠置町笠置山29) 『笠置寺・弥勒磨崖仏 画像による復元報告』を作成。 可能な限りの痕跡を求めた。、当時の荘厳さを表現するため雰囲気演出した。報告書においては、復元の根拠等を明確にしている。「弥勒信仰」の中心となった磨崖仏</p>	
--	--	--

笠置寺 弥勒磨崖仏復元 報道

■ メディア掲載記録一覧 ■

報道記録(新聞・雑誌等)

京都新聞	2010年 8月 26日
	2010年 10月 2日
毎日新聞	2010年 8月 6日
	2010年 10月 1日
朝日新聞	2010年 10月 2日
読売新聞	2010年 10月 3日
産経新聞	2010年 10月 2日
中外日報	2010年 10月 7日

報道記録(NHK・民放・ケーブルテレビ)

NHK・京都	2010年 8月 2日
NHK・全国	2010年 10月 1日
NHK・京都	2010年 10月 26日
NHK・大阪	2010年 11月 9日
NHK・全国	2010年 11月 15日



記者会見風景

笠置寺本尊 磨崖仏、画像で再現へ
鎌倉末期焼失したとされる笠置寺(笠置町)の本尊・弥勒磨崖仏を、デジタル画像で再現する試みを、精華町のベンチャー企業「文化財復元センター」(大隈剛田代表)が進めている。9月末までには写真パネルとして完成させる予定で、同寺の小林慶住(住職)は「本尊の本来の姿を知りたい」と参拝客も多く、観光資源として期待している。

【山田尚弘】
弥勒磨崖仏は、奈良13の巨大な巨匠に刻られ、皇が倒幕のために平賀時代中期の作と推定され、焼失した元弘の変(1336)の際、高き約16尺、幅約1尺半の、彫刻された弥勒菩薩の姿が、火災の熱で消失したとされている。現在、大野寺の石仏の彫刻を合成させた試作品の写真パネルを手にする小林住職。笠置町の笠置寺で、同寺の本尊の姿を知りたいという参拝客は多く、観光資源として期待している。

【山田尚弘】
弥勒磨崖仏は、奈良13の巨大な巨匠に刻られ、皇が倒幕のために平賀時代中期の作と推定され、焼失した元弘の変(1336)の際、高き約16尺、幅約1尺半の、彫刻された弥勒菩薩の姿が、火災の熱で消失したとされている。現在、大野寺の石仏の彫刻を合成させた試作品の写真パネルを手にする小林住職。笠置町の笠置寺で、同寺の本尊の姿を知りたいという参拝客は多く、観光資源として期待している。

デジタル画像で 大磨崖仏復元へ
笠置町の笠置寺が、の姿がほとんど見えなくなった。劣化が激しい本尊・弥勒磨崖仏をデジタル画像で復元しようとする試みが始まった。寺は12年前に本尊を削り、11日から本格的な復元作業が始まった。笠置寺は「画像での復元が成功すれば、実物も元通りにしたい」と企業で、高精細のデジタル画像を基に寺院の成果に期待している。本尊は高さ約15尺、幅約8尺ある。正月至の隣に立つ巨石(高さ約20尺)に線で彫られている。磨崖仏としては国内最大級で、奈良の大仏(約15尺)に比べて約3倍の大きさである。11日は、センターが時代を彫ったとみられるが、3度に及ぶ正月の堂の火災や風化で仏彫した。思ふ部分

京都新聞 8月12日

弥勒磨崖仏を撮影する文化財復元センターの大隈代表(笠置町・笠置寺)
復元した画像はパネルに彫る予定。小林慶住(住職)は「新しい技術なら昔の姿をよみがえらせることができると期待している。」(王岡宏)

毎日新聞 8月6日

面業相当のカメラで、赤外線撮影や紫外線撮影の技術を使い、わずかに残った凹凸を撮り、岩に刻まれていたと考えられる線刻を浮かび上がらせる。大野寺の磨崖仏の彫刻と、笠置磨崖仏の図柄を重ねた上で話し合った。

磨崖仏を再現するといふ。同センターの大隈代表は「表面が風化して不鮮明になった磨崖仏の文字を復元させた形があり、なかなか形が再現しきれなかった」と話した。

デジタル技術でよみがえる

岩の表面が落剥してしまった現在の本尊 デジタル画像で再現された本尊・弥勒菩薩像

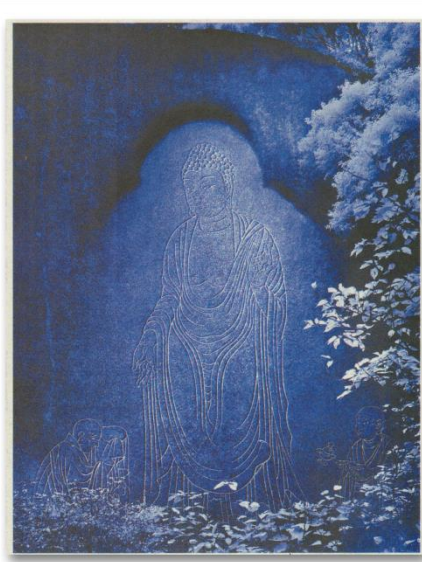


消えた磨崖仏を再現

680年前の本尊弥勒菩薩 岩の痕跡から探し出す
真言宗智山派笠置寺
表面が落剥して発見された弥勒菩薩像をよみがえらせた。...

MAINICHI 新毎日 夕刊 10月1日(金) 2010年(平成22年) 発行所: 大分県大分市...

科学の目で見えた 約680年ぶりにデジタル画像で復元された本尊弥勒菩薩像。...



磨崖仏 デジタルで復元 国内最古級 後醍醐天皇拳兵の際に焼失
京都笠置寺
天幕が鎌倉幕府を倒そうと笠置山で拳兵。その際の兵火で石の表面が焼けて崩れ、今は残った部分だけが残る。...

産経新聞 2010年10月2日 笠置寺 680年ぶりお姿拝見
文化財復元センター 磨崖仏をデジタル復元
弥勒菩薩は、笠置寺の。しかし、後醍醐天皇が鎌倉幕府を倒すため拳兵した。...

法輪寺 虚空蔵菩薩像 現状画像



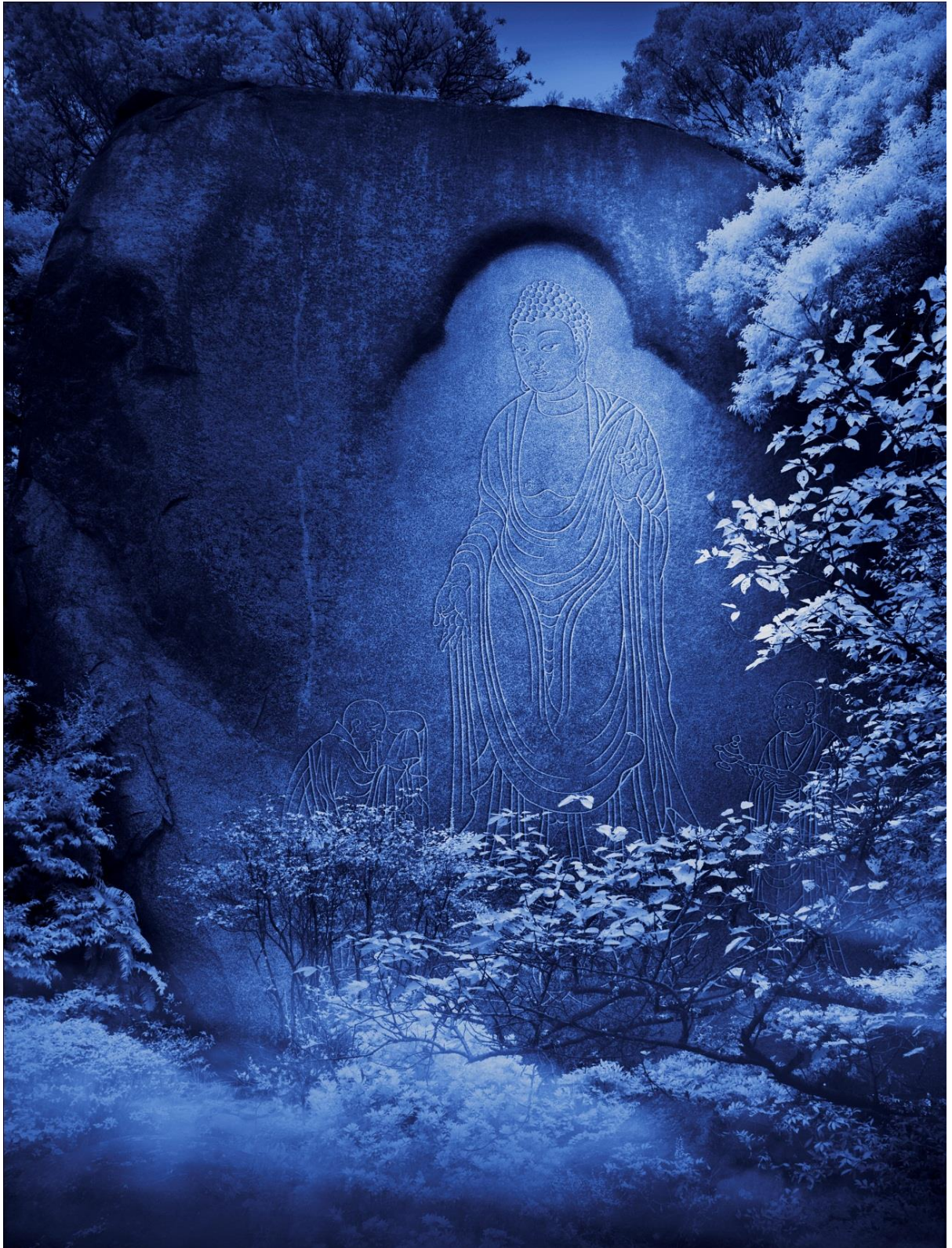
虛空藏菩薩像 復元画像



笠置寺 弥勒磨崖仏 現状画像



笠置寺 弥勒磨崖仏 復元画像



〒619-0237
京都府相楽郡精華町光台1丁目7
けいはんなプラザ ラボ棟9階
TEL 050-1058-8025

(資)文化財復元センター

代表 大隈 剛由

Eメールアドレス information@fukugen.info

URL <http://www.fukugen.info/>
<http://www.fukugen.info/npo/>